



本資料は5月5日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です。
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください。

<https://bit.ly/2YGCiPr>

アデコ 新型コロナウイルスによる危機の中でも 目標達成に向けた戦略を継続

事業の継続性と財務の安定性を確保：顧客を支援しながら復興に向けた資本投入を準備

[2020年5月5日 スイス・チューリッヒ]

2020年第1四半期サマリーとハイライト

- 報告ベースでの既存事業売上高¹および営業日数調整後の既存事業売上高は前年同期比9%減
- COVID-19により多くの国でロックダウンが行われた影響により、3月の営業日数調整後の既存事業売上高は前年同期比19%減、4月の営業日数調整後の既存事業売上高は前年同期比40%減と大きく減速
- 粗利率はLee Hecht Harrisonのキャリア移行支援事業が寄与し、前年同期比20bps増の19.3%と引き続き好調
- 一時的要因を除く²EBITA³利益率は、3月に売上高が俄かに減少した影響で前年同期比100bps減の3.0%
- 財務体質は強固で、一時的要因を除くEBITDA純有利子負債倍率⁴は0.3x、手元資金は14億ユーロ、リボルビン・グ・クレジット・ファシリティの未使用額は6億ユーロで、Through-the-Cycle (TTC)アプローチによる強靱なキャッシュフローのダイナミクスに支えられている。自社株の買戻しはCovid-10の影響で凍結。
- COVID-19による危機に関連したドイツ、オーストリア、スイスにおけるのれんの減損が3億6,200万ユーロ
- アデコグループの戦略的優先事項である「GrowTogether」プログラム、IT、「Ventures」への投資を継続

アデコグループCEOのアラン・ドゥアズは次のようにコメントしています。

「COVID-19が引き起こしたパンデミックと、それにとまなう封じ込め対策は、公衆衛生と経済にかつてない危機をもたらしました。私たちは幸いにも、過去数年間に実施した変革への取り組みのおかげで、強固なバランスシート、良好な流動性、堅牢なITインフラといった財務および運営上の強みを持った状態でこの危機にあたることができました。COVID-19による危機の間、当社の主な焦点は、従業員やアソシエイトの健康と安全を確保し、お客様の人材ニーズをサポートし、環境が急速に変化する中で俊敏に対応することにあります。短期間でバーチャルオフィスへ移行し、全世界の従業員の80%が在宅で仕事をできるようになりました。ITとデジタルへの最近の投資により、ミドルオフィスとバックオフィスを完全にリモートで運営することが可能になりました。

第1四半期は、長期的な戦略的優先事項を見失うことなく、コスト管理に対する規律あるアプローチを維持しました。第1四半期には日本で統合フロントオフィスを立ち上げ、第2四半期にはフランスとスペインでの展開を予定しています。

4月の収益は前年同期比で約40%減少しており、第2四半期は厳しい四半期になると予想しています。短期的には財務上の影響を最小限に抑えるために努力しながら、同時に「Perform, Transform, Innovate」戦略への投資を継続することで、長期的な成功に向けて事業をポジショニングすることにも注力しています。

このような非常に困難な状況下で、継続的かつ献身的に業務に取り組んでいる世界中の従業員に感謝の意を表したいと思います。」



*1：既存事業売上高とは米国会計基準以外の基準で、為替変動、M&A、事業部売却の影響を除く

*2：2020年度第1四半期のEBITAは、2019年第1四半期の一時的要因1800万ユーロを含む；2019年度第1四半期EBITAは、一時的要因500万ユーロを含む

*3：EBITAは米国会計基準以外の基準で、償却前営業利益、のれん、および無形固定資産の減損を含む

*4：純有利子負債およびEBITDA純有利子負債倍率は、米国会計基準以外の基準。純有利子負債は、短期および長期の有利子負債から現金および現金同等物、短期投資を控除したもの。EBITDA純有利子負債倍率は、期末の純有利子負債を、一時的要因を除いた直近4四半期のEBITAで割ったものに減価償却費を加えて計算される。

<主な数値>

2020年度第1四半期の損益計算書情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
売上高	5,139	5,645	-9%	-8% ⁵
売上総利益	994	1,080	-8%	-7%
EBITA 利益 (一時的要因を除く)	154	226	-32%	-28%
EBITA 利益	136	221	-38%	-35%
当期純利益	(348) ⁶	133	n.m.	
希釈 EPS (ユーロ)	(2.14) ⁶	0.82	n.m.	
粗利率	19.3%	19.1%	20bps	30bps
EBITA 利益率 (一時的要因を除く)	3.0%	4.0%	(100)bps	(80)bps
EBITA 利益率	2.6%	3.9%	(130)bps	(110)bps

2020年度第1四半期のキャッシュフローおよび純負債情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期
利払いおよび納税前のフリー・キャッシュフロー ⁷ (FCFBIT)	89	191
フリー・キャッシュフロー (FCF)	30	133
純有利子負債 ⁸	388	1,096
未払い日数	53	53
キャッシュコンバージョン ⁸	90%	99%
EBITDA への純有利子負債 ⁹	0.3x	0.9x

*5：2020年度第1四半期の既存事業の売上高の成長は前年同期比8%減、または営業日数調整後で9%減。

*6：のれんの減損3億6,200万ユーロを含む。

*7：フリー・キャッシュフローは米国会計基準ではない尺度で、営業活動からのキャッシュフローから設備投資を控除したもの

*8：純有利子負債は米国会計基準以外の基準で、短期および長期の借入金から現金、現金同等物、および短期投資を控除したもの

*9：キャッシュコンバージョンは米国会計基準以外の基準で、直近4四半期のFCFBITを直近4四半期のEBITAで割ったものを四捨五入して計算

*9：EBITDAへの純有利子負債は米国会計基準以外の基準で、期末時点での純有利子負債を一時的要因を除いた直近4四半期のEBITAで割って減価償却費を加えたもの



THE ADECCO GROUP

2020 年度第 1 四半期の日本の状況

2020 年度第 1 四半期の日本での売上高は 7% 増、または営業日数調整後で 8% 増の 3 億 8,200 万ユーロで、プロフェッショナル・スタッフィング事業とソリューション事業が 2 ケタ成長を果たしました。人財紹介事業の売上高は前年同期比 1% 減となりました。EBITA は 2,500 万ユーロ、一時的要因を除く EBITA 利益率は、「Grow Together」戦略に基づく IT への多くの投資の影響のより前年同期比 80bps 減の 6.6% でした。

【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 広報部

Tel. 050-2000-7024